



H17. 7.22 1152
 静岡県漁業協同組合連合会
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343
 編集・発行 = 指導部 漁政課
 URL: http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

1. 砂浜の浸食防止へ福田漁港から浅羽海岸へ砂大輸送

福田漁港の土砂堆積と浅羽海岸の砂浜浸食を防ぐサンドバイパス(砂輸送施設)の建設について協議する「第4回福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス検討委員会」が去る7月13日開催されました。会議では、土砂の採取方法や輸送経路などの基本設計を了承したほか、今後、生物や砂浜に与える影響などを検討し、国内初となる施設の早期着工を目指すこととなりました。

同港は防波堤の影響で、天竜川からもたらされる漂砂が港の入口付近に堆積し、船舶の航行の妨げとなっています。この影響で隣接する浅羽海岸では、必要な土砂が流れず砂浜の侵食が進み、双方の対策として有効なサンドバイパスの導入について、環境保全や技術的な観点から国、県、市など有識者で組織される検討委で検討を続けています。

基本設計ではポンプ6機を使って海中から土砂を吸い上げ、浅羽海岸の浸食を防ぐのに必要な年間8万立方メートルの土砂をパイプラインで輸送、排出します。

事前の調査で排出地点は防波堤から東に1^{km}の地点で、浸食を防ぐ土砂が効果的に流れる地点を割り出したほか、アオウミガメの上陸・産卵期である5～8月は停止し、環境にも配慮しています。

2. マダイ・ヒラメの稚魚放流各地で行われる

清水漁協では、安定した漁獲を目指し昭和57年からタイやヒラメの種苗放流を行っており、去る7月14日には静岡市清水区の清水港海づり公園で、市立清水浜田小の5、6年生約100人を招き、ヒラメの放流体験会を行いました。

児童はバケツに分けられた体長7^{cm}ほどのヒラメの稚魚を「大きく育てね」と声を掛け、無事に育つことを願いました。

また翌日には、由比港漁協及び県遊漁船業協会が、由比港沖でマダイの稚魚の放流事業を実施しました。当日は、由比、蒲原両町の小学生や関係者など約100名が9隻の遊漁船に分乗し、同港約2^{km}沖合にマダイの稚魚2万尾を放流しました。

この放流事業は、異常気象や自然環境の変化などで漁獲量が減少傾向のマダイを放流することで、子供たちに水産資源の大切さを知ってもらおうと、小学校の総合学習の一環として企画されました。

3. 南伊豆町小瀬漁港の「海の釣り堀」がオープン

南伊豆町漁協では、新たな観光開発と地域活性化を狙った事業の一環として、平成13年夏から「海の釣り堀」を夏季限定で開設していますが、今年は去る7月17日当施設がオープンし梅雨明けと海の日が絡む連休が重なり大勢の家族連れなどで賑いました。

釣り客は堤防から2種類(アジ・タイ)の魚を好きなだけつることができ、釣った魚は買取りとなります。

入場料：1人千円(レンタルさお、オキアミ餌付) 営業時間：9:00～16:00(8月21日)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

までの営業) 問合せ先：南伊豆町漁協 TEL:0558-62-0320

4. 防災船「希望」を使い戸田で現地支援訓練開催される

県東部地域防災局と沼津市、戸田漁協では去る7月7日、戸田地区でTSL防災船「希望」を使った戸田現地支援訓練を行いました。

訓練は、津波対策推進旬間(7月1～10日)の一環として、東海地震の被害で陸路が寸断され、戸田地区が孤立したまま2、3日が経過したという想定で行われ、初動対応や各機関の連携の在り方を確認しました。

戸田港では防災船と中央棧橋までの渡船搬送訓練のほか、戸田支援現地会議を開催し、市職員らが地震や津波による「被害状況」と地区対策本部の設置などの経過を報告した後、各機関の代表者が情報を共有するためにライフラインの現状や対応策について説明が行われました。

また、戸田中学校の生徒が地震防災の総合学習として、防災船に体験乗船し船内で非常食体験をしたり、湾内でダミー人形を使った津波被災者救助訓練を見学しました。

5. 県政(水産)さわやかタウンミーティング開催のお知らせ

県水産総室では、水産関係者や県民の皆様から幅広く意見を聞き、県政運営に資するため、次のとおりタウンミーティングを開催します。各漁協においても最寄りの会議に参加してください。

地区	東 部	中 部	西 部
開催場所	内浦漁協	県水産試験場	県水試浜名湖分場
開催日	8月29日(月)	9月9日(金)	8月5日(金)
テーマ	養殖水産物を中心とした水産物の販売戦略	沿岸魚介類、水産加工品を中心とした水産物の販売戦略	浜名湖周辺の水産物を中心とした水産物の販売戦略
共通話題提供	シーフードフェアの開催 漁協合併、産地市場統合の促進 スーパーマーケットトレードショーへの出展 卸売市場法の改正		

* 各地区話題提供 東部地区 水産加工地域再生強化推進事業
 中部地区 水産加工品の海外輸出戦略 水産加工品総合品評会 深層水PR事業
 西部地区 トラフグの里親制度

* 開催時間 = いずれの会場も午後1時30分から3時

* 県側出席予定者：水産総室長、水産流通室長、水産振興室長、水産資源室長、漁港整備室長、水産試験場長(分場長)

申込・問合せ先：各開催日の1週間前までに水産振興室宛 FAX又は郵送
 TEL054-221-2744 FAX054-221-3288

6. 諸会議日程(7月26日(火)～8月8日(月))

- 既報分省略 -

7月28日(木) 県信漁連 = 第5回理事会 (業務部会議室/焼津)

8月 5日(金) 県機船底曳網組合 = 役員会 (ブケ東海)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう